



子どもたちが地球の未来を考える

■ 8月8日、市民会館で市内の小中学生を対象に学ぶ環境体験学習塾が開催されました。子どもたちはペットボトルエコライトづくりなどの活動を通して地球の未来について深く考えました。



よかど鹿児島で枕崎の魅力をPR

■ 9月10日から12日までの3日間、よかど鹿児島本店ビルで「枕崎市特産品・観光フェア2026」が開催されました。

市内4事業者とその関係者が参加し、特産品の試飲・試食などを通して枕崎の魅力をPRしました。



旧金山小学校で街コンイベント開催

■ 9月5日、一般社団法人枕ラボ！主催で、今回が4回目となる街コンイベント「まくコン」がGMフォーエバー(旧金山小学校)を活用して開催されました。



救急車適正利用の広報活動を実施

■ 9月9日は救急の日でした。本市消防本部では、救急車の適正利用や救急車の設備等を知ってもらおうと、市内の商業施設で広報活動を行いました。



枕崎のかつお節を知る

～高校生が削り体験に挑戦

9月9日、さつま枕崎鯉節協会の鯉節普及事業の一環として、枕崎水産加工業協同組合の職員3人が枕崎高校を訪れ、2年生を対象にかつお節についての出前授業を行いました。

生徒たちは、かつお節ができるまでの製造過程について説明を受けたほか、実際にかつお節を削る体験にも挑戦。参加した生徒からは「地元のかつお節が全国シェアの45%以上を占めていることを初めて知り、驚きました」といった声があり、地元の特産品への理解を深めました。



ボランティアによる合唱や踊りで大盛り上がり

～地域ふれあいサロンたんぽぽで敬老会を開催

9月16日、田布川公民館で、特定非営利活動法人たんぽぽ主催の敬老会が開催されました。

敬老会には、南薩地域を中心に活動しているコーラスグループ「コトノハマリン」や地域の方々がボランティアとして参加しました。

コトノハマリンによる合唱や地域の方による踊りが披露され、施設の利用者と地域の方々が大いに盛り上がっていました。



ラオスでの活動を報告

～第33回鹿児島県青少年国際協力体験事業

7月19日から26日までの7泊8日の日程で「第33回鹿児島県青少年国際協力体験事業(派遣国：ラオス)」が実施され、本市から、加世田高校2年生の永谷爽晴さんと別府中学校2年生の近森郷さんが参加しました。

活動を終えた2人は、8月17日に教育委員会を訪れ、活動を報告しました。

特に印象に残ったことについて「村全体が家族のようだった」「枕崎を紹介するため、現地の方に鯉節を食べてもらい『おいしい』と喜んでもらえた」と振り返りました。

2人の活動発表は、来年2月に開催される生涯学習フェスティバルで行われる予定です。



各学校で熱戦が繰り上げられる ～市内中学校で運動会が開催

9月13日、市内4中学校で体育祭が開催されました。さわやかな秋空の下、生徒たちは各競技でこれまでの練習の成果を懸命に発揮しました。リレーや団体競技などでは、仲間と声を掛け合いながら最後まで全力で取り組む姿が見られ、会場は大いに盛り上がりしました。保護者や関係者、地域住民も多く訪れ、生徒たちの懸命な姿に大きな歓声や拍手を送っていました。学年を越えて心をつなげた、思い出に残る一日となりました。

①枕崎中の1年女子徒競走 ②枕崎中の紅白対抗リレー ③立神中の女子徒競走 ④立神中の障害物リレー ⑤桜山中の紅白対抗全員リレー ⑥桜山中の綱引き ⑦別府中の5色綱引き ⑧別府中のリベンジ！親子対決リレー



歴史を描く現代錦絵の世界

～北斗南舟の世界展を開催

9月8日から17日まで、南湊館で「現代錦絵 北斗南舟の世界展」が開催されました。会場には、鹿児島市出身の現代錦絵作家・北斗南舟氏が描いた、戌辰の役をテーマとする作品が並び、訪れた人たちは色鮮やかな錦絵を通して歴史の世界に触れました。

また、9月13日には北斗南舟氏による「明治への道 戌辰之役」と題した講話会も行われ、作品とともに歴史への理解を深める機会となりました。